



テスト週間となりました。各ご家庭で、お子さんはどの様な勉強ぶりでしょうか？テスト勉強の計画表に基づいてしっかり取り組んでいる子、塾などに行って苦手なところを教えてもらっている子がいるかと思えば、逆に熱心さが見受けられない子、スマホやゲーム機に夢中になる時間が多い子などもきっといることと案じています。また、勉強しているのだけれど、ワークなどの問題について答えを写しているだけで、実は勉強になっていないという場合もあるのではないのでしょうか。学校では、『中部リンピック』や『Let's 家勉プロジェクト』などの取組を実施して、少しでも勉強機に向かう時間を増やせるように工夫をしています。是非、各ご家庭におかれましても、学校の取組について尋ねるなどにより、お子さんの意欲を駆り立てることができるようをお願いします。

このリレーインタビューは、中部中学校に在籍する先生方にリレー形式でバトンを渡しインタビューしていくものです。だれにバトンが渡されていくのかお楽しみに!(^_^)!



かわむら いっけい
スタート ▶▶▶ 川村 一敬 教頭先生

新企画の『TEACHERS@中部中 リレーインタビュー』！
1回目となる今回は、川村一敬教頭先生です。

---- 中部中に在籍して通算何年目になりますか？

川村 18年目になりますかね。最初が9年、次が8年、そして今という感じです。

---- 20年、30年前の子どもたちと、今の中学生と比べて、違うところってありますか？

川村 良い意味で、昔はもっとやんちゃで元気があったように思いますね。何事にも積極的と言うか、向こうから先生にぶつかってきましたよ。逆に、今の子は受け身。

---- それは同感！先生たちもそうかも(笑)

ところで、昨年まで小学校勤務でしたが、中学校との違いは感じました？

川村 小学校は1年生が肝心で、ある意味、小中合わせて義務教育の根底にあるのがよくわかりました。一方、中学校の場合は



川村 一敬 教頭先生

3年間で、未来の入り口を決めると言うか、いわゆる進路選択に向けてその子を育てると言う雰囲気です。

---- 小学校の低学年ってホント大事なんだけど、その分大変なのはよくわかるなあ。

川村 先生方にも低学年のプロミみたいな存在の方もみえて、とても勉強になりました。

---- ところで、川村先生と言えば、ソフトボールというイメージなんですが、先生自身は個人競技もやっていたんですね。

川村 そうなんです。剣道や空手をたしなんでいました。

---- ズバリ、そうした武道とかの個人競技と、ソフトボールのような団体の競技と比べたら？

川村 剣道や空手は、まずは自分ですから。自分との戦い、勝っても負けても、その責任は、自分自身に返ってきますから、その分シビアな感じがします。

---- ではソフトボールは、先生にとってどんな競技？

川村 とにかくチームとしてのつながりがありますよね。瞬間瞬間でつながり合っている。

---- 今のソフトボール部にメッセージとかありますか？

川村 僕が顧問をしているときに、試合前には、いつも部員たちが校歌を歌ってたんですよ。それは、学校を誇りに思うとか、学校を愛するとかを実感するためにです。それが、ゲームにも生きてくると思うんです。あと、グラウンドを大切にするとかも同じことです。

---- 何か熱いものを感じますね！最後に、今の中部中の生徒の皆さんに一言お願いします。

川村 全体的に落ち着いていて、整っているという印象です。今以上に個性を輝かせて、自己主張できるようになってほしいです。「やれば、できた!」という言葉を生徒の皆さんに贈ります。

---- どうもありがとうございました。

【インタビュー後記】

校務で忙しい中でしたが、何を聞いても直ぐに答えが返ってきたので、気持ちよかったです。教頭先生の個性が輝いていました。

★次回は、松本あかり先生を予定しています。

自家用車での学校送迎・・・できればお控えください

前回の定期試験第1日目・・・この日もお迎えの車両が大混雑を起こしていました。テストということで、生徒は一斉に下校するため、学校正面の坂道や生徒昇降口付近で、自転車と車両が交錯するヒヤッとする場面が多々見受けられました。もちろん、生徒たちには安全への配慮を指導しますが、学校の登下校は自転車または徒歩を原則としていることから、怪我等の特別な事由が無い場合は、自家用車での送迎はお控えいただきますようお願いいたします。

